

2024 年 4 月 1 日

インドにおける円筒形リチウムイオン電池製造の合弁会社設立に向け インディアンオイル社と協議を開始

パナソニック エナジー株式会社（本社：大阪府守口市、社長執行役員：只信一生、以下 当社）は、市場の拡大が見込まれるインドの二輪、三輪自動車及びエネルギー貯蔵システム（ESS）向け電池の需要に対応するため、Indian Oil Corporation Limited（本社：インド ニューデリー、会長：Shrikant Madhav Vaidya、以下 インディアンオイル）と、このたび円筒形リチウムイオン電池の製造に関する合弁会社設立の枠組みについて、タームシートに署名し協議を開始しました。今後、両社間でフィジビリティスタディを推進し、インドでのクリーンエネルギー拡大における蓄電池技術の活用に関して協議を進め、2024 年夏ごろの協業内容決定を目指します。

インドは、14 億人という人口を原動力に近い将来 GDP において米国、中国に次ぐ世界第 3 位の経済大国になることが見込まれている市場です。インディアンオイルはインドにおける最大規模の国営石油生産企業であり、インド政府が掲げる 2070 年までにネットゼロ達成を目指す計画を受け、2046 年までのネットゼロ達成を目指しています。近年では石油・ガスだけでなくソーラーやバイオ燃料、水素などクリーンエネルギーの開発にも積極的に取り組んでいます。当社は今回の協議を開始することで、電池事業分野においてパートナーシップを深め、CO₂ 排出低減などの環境課題解決やサプライチェーンエコシステムの構築、インド国内での原料調達需要創出等についてインディアンオイルと連携を図りたいと考えています。

当社は電池開発・製造の優れた技術と豊富な経験により、リチウムイオン電池業界の成長を牽引するとともに、インドにおける電池産業の発展とエナジートランジションに貢献し、ミッションである「幸せの追求と持続可能な環境が矛盾なく調和した社会の実現」を目指します。

以 上